



事務局報

第143号

令和元年6月

1. 令和元年度 第28回通常総会開催

5月17日（金）ロワジュールホテル那覇で令和元年度第28回定期総会が開催されました。来賓として沖縄総合事務局から小口次長、協会本部から賢木副会長をお迎えしました。

会は桃原支部長主催者挨拶の後、来賓として沖縄地区用地対策連絡会会長・沖縄総合事務局小口次長、一般社団法人日本補償コンサルタント協会坂田隆史会長（代読賢木副会長）の挨拶を頂き、島袋厚（沖縄用地測量設計社長）議長のもと第1号議案（平成30年度事業報告）、第2号議案（平成30年度決算報告）、監査報告、審議され承認されました。また執行部から報告事項（令和元年度事業計画及び収支予算）が説明されました。

総会后、懇親会を開催し約150名余が参加され来賓として、沖縄総合事務局小口次長、沖縄県土木建築部上原部長、沖縄県土地開発公社田端理事長のご挨拶を頂きました。会員は和やかな雰囲気で見聞交換等行っていました。

総会開始前の3時から、10月実施予定の消費税に係る軽減税率について沖縄国税事務所間税課の伏見課長補佐が説明を行いました。



主催者挨拶を述べる桃原支部長

支部長の総会挨拶

本日は一般社団法人日本補償コンサルタント協会沖縄支部の令和元年度通常総会にお集まり頂き誠にありがとうございます。また、公務ご多忙の中、沖縄地区用地対策連絡会会長、内閣府沖縄総合事務局次長の小口 浩さま、一般社団法人日本補償コンサルタント協会から副会長の賢木新悦さまを来賓としてお迎えすることができました。お二方様には沖縄支部を代表いたしまして、改めて御礼申し上げます。さて、前年度の業況ですが、前々年度に続き発注が少ない厳しい一年でした。3年前は活況でありました。その落差も加わり厳しさを痛感する一年間であったのではないかと思います。モノレールの延伸事業を最優先する予算措置がとられ他の事業の先送りが起きたことが主な要因だと言われています。さて延伸されるモノレールの開業は春が夏になりそして10月1日に行われる運びですが、予算の手当はすでに終了していて本年度は他の事業に振り向けることができるものと聞いています。もう一つ、那覇空港滑走路増設事業、第二滑走路ですが、毎年、330億円の予算規模で推移してきましたが、令和元年が事業の最終年度となり本年度予算は約100億円少ない293億円です。その浮いた分、差額分の100億円は他事業へ振り向けることになり、私たちへの発注も増えるものではないかと期待しています。ところで要望活動等で起業者を訪問する機会が多々ありますが、起業者との対話の中で、「頼りにしています」ということをよく聴きます。2年前よりは去年、去年よりは今年と年を重ねる毎に、補償コンに対する期待が高まっていることを強く感じます。引き続き本年度も起業者の期待にお応えする協会を目指していくことが最も肝要だと考えています。専門

家集団としての自覚を持ち、昨日よりは今日、今日よりは明日と会員の技術向上に取り組んで参ります。二点目は周辺業務の開拓を行います。具体的には、過年度から行っている固定資産家屋評価の受託に向けた取り組みです。固定資産家屋評価業務委員会を中心に受注体制へ向けて技術の整備を図ってきましたが、本年度は更に完成度を高めていく年にしていく所存です。併せて会員には実務に特化した研修を行って参ります。本日の総会には2議案を上程しております。会員皆様の活発なご意見を拝聴しながら今年度の沖縄支部の事業を推進していきたいと考えております、皆様のご協力をよろしくお願い致しまして挨拶と致します。

attention
※成果品は会社の顔である！
※多重チェックを忘れずに！



総会風景



総会終了後の記念写真



懇親会での乾杯

2. 令和元年春の褒章受章者

5月30日、国土交通省で春の褒章伝達式がありました。当支部会員の野原勉氏（(株)都市建築設計代表取締役）が黄綬褒章を受章なされました。功労概要は業務精霊（建築設計監理業）です。野原様おめでとうございます。

3. 今月の予定

○6月6日13時30分より

「所有者不明土地」説明会

午後1時00分 沖縄産業支援センター

○6月20日～21日

「固定資産家屋評価宿泊研修」

ユインチホテル南城

○6月28日15時より

「損失補償算定要領」説明会

3. ひとりごと

支部の通常総会も終わり事務局も一息ついているところです。今年度も会員の皆様の声をお聞きしながらより良い支部運営を行って行きたいと思えます。「現状維持では後退するばかりである」by ウォルト・ディズニーと謂う言葉があります、会員の皆様も現状に満足せずチャレンジ精神をもってあらゆる事に挑戦して下さい。

